

# クロスワードパズル 解答



前号のクロスワードパズルの解答です。  
はじめての試みでしたが、楽しんでもらったのなら何よりです。

せ<sup>A</sup>ん<sup>B</sup>じ<sup>C</sup>ゆ<sup>D</sup>が<sup>E</sup>は<sup>F</sup>ま<sup>G</sup>の<sup>H</sup>く<sup>I</sup>り<sup>J</sup>ん<sup>K</sup>そう

び	じ	た	—	せ <sup>A</sup>	ん	た	—	●	ご
ん <sup>J</sup>	●	も	●	り	●	も	●	う <sup>K</sup>	●
ず	み	●	ゆ <sup>D</sup>	●	か	ざ	り	ば	ね
い	ず	み	や	ど	●	わ	ん <sup>B</sup>	●	こ
●	め	ぎ	●	ろ	く <sup>H</sup>	●	ご	ま	●
き	●	て	い	●	ま	が <sup>E</sup>	●	く	も
む	し	●	ぐ	み	●	か	ら	は <sup>F</sup>	な
し <sup>G</sup>	●	あ	さ	つ	き	●	つ	り <sup>I</sup>	●
や	ま	ぶ	●	ま <sup>G</sup>	た	た	き	●	あ
ま	す	●	つ	た	●	き	よ	た	き

製作：すず

くじけずに最後まで解けましたか？笑  
おこもり生活の合間にまた  
ぜひ復習してみてください！



奥日光の自然情報誌  
楓通信 No.145  
発行：自然公園財団日光支部  
Tel：0288-62-2461

2021年6月初旬発行  
季刊 無料  
次号2021年9月初旬 発行予定

## 『楓通信』定期購読について

本誌は無料です。定期購読は、2年単位（発行数8部）で1,000円（送料・手数料・税込）となっております。  
購読をご希望の方は、日光湯元ビジターセンターへ直接お越しになり申込書にご記入いただくか、お電話にてお問合せくださいませ。

不明点やご質問がございましたら、楓通信担当、宮城までご連絡ください。TEL：0288-62-2461

奥日光の自然情報誌

# 楓通信

2021年 No.145  
6-8月号



鏡面の西ノ湖

## 今号のみどころ

- ・第5回 One Team 教えて！元、東〇バス運転手
- ・戦場ヶ原、小田代原だけじゃない 千手の森へ行こう！

# マニアックに語れ。 其ノ四 のコーナー

最近、日光湯元ビジターセンターの館内で、ひと際お客様（と職員）の注目を集めている展示がある。しかし、その展示には下記のような物騒な文言が添えられている。

道路を車で走っているとき、山道やハイキングコースを歩いているとき、ときたま、動物の死体を見つけることがある。大抵の人は、気味悪がったりして、あまり近寄らず避けていくことだろう。だけど私は、つい、近寄って拾ってしまう。もちろん、衛生上の問題などは理解し、対策したうえで。

拾った死体はどうするかというと、手持ちのビニール袋などに入れて、口を縛り、表面に動物の種類と日付、場所（緯度経度もスマホで調べる）を書いて、家に持ち帰り冷凍しておく。そして、気が向いたときに計測して、仮剥製や毛皮剥製、頭骨標本、あるいは全身骨格標本にしたりする（大抵は、仮剥製や毛皮、頭骨標本が多い）。

あの動物はこんな骨格をしているのか、とか、ご自身の骨と比べてみるなど、色々なものと比べてみると、案外面白いのではないだろうか。

職員 S・M

シマヘビ



一体何を言っているんだ？と思うかもしれないが、そんな職員が作成した展示は左の写真（一部）である。注目していただきたいのは、これが『職員がプライベート&趣味で作った物』だという事である。「家に持ち帰り冷凍する」と普通に書かれているが、要はごく普通の冷凍庫に、食材ではなく、袋に入ったホネホネになる前の彼らが入っているという状態なのだ。この仕事をしていると、良い意味で「ほんと色々な人がいるなあ…。」と思う今日この頃。

元々、常設の展示でシカの頭骨はあった。しかし、生物による骨格や構造、大きさの違いや、この部位に骨があったのか！といった発見があり、比べてみると確かに面白い。加えて、ヘビやモグラ、カエルといった、それこそマニアックな生物ばかりなのもポイントだ。

ぜひビジターセンターに立ち寄って、奥日光のホネホネくんたちを観察してやって欲しい。

タヌキ



アズマモグラ



## 第5回 One Team

# 教えて！元、東〇バス運転手！

前々回に引き続き元、東〇バス運転手イシツカによる特集です！運転手時代のエピソードなど、色々と聞いてみました！いつもとはちょっと変わった視点から、奥日光をお楽しみください。



### 質問1、日光が最も渋滞する、秋のエピソードをお願いします。

通常5分の区間(日光東照宮付近の交差点)で1時間かかったこともあります。特に、清滝付近から中禅寺温泉までは、いろは坂を登ることもあり、通常45分のところが3時間以上かかることもありました。中禅寺温泉バスターミナルの日光駅行きバス停は華厳の滝入口まで長蛇の列で、日帰りのお客様に「何しに来たのか分からないわ！」と言われたこともあります…。運転手としては申し訳ない思いの中、海外のお客様から「安全運転アリガトウゴザイマス！」と労いの言葉に嬉しく思ったことも(ちなみに、左足は頻繁なクラッチ操作で腫れていました)。

### 質問2、奥日光は動物の飛び出しが多いですが、それに関するエピソードはありますか？また、飛び出してきた場合、どう対処するのでしょうか？

夜のいろは坂を上がっていたら、シカの群れが飛び出してきて、道路一帯を塞がれたことがありました。警笛を鳴らしたりライトを点滅しても逃げず、困惑しました。

動物が飛び出してきたら、可哀そうですが跳ね飛ばすように教わりました。急ブレーキ、急ハンドルでお客様にケガをさせる恐れがあるからです。動物が飛び出しやすい場所では減速し、注意していました。

### 質問3、自動車の事故に遭遇する機会もあったかと思いますが、その中でも特にビックリした事故を教えてください。

いろは坂を下っていてバイクを先に行かせたら、44カーブ手前の谷側のガードレールに先ほどのバイクが寄り掛かっていた。ライダーは何処に消えたのかと探したら、45カーブ手前の石垣側に座り込んでいました。どうやら減速が間に合わずライダーのみが下に落ちたようで、5mほどの高さから落ちたのに奇跡的に無事だったようです。自転車でも同様の事故を見たことがあり、翌年度には高さを増したガードパイプが設置されていました。

### 質問4、最後に、東〇バス関連のお得&オススメ情報をください！

日光全体としての情報ですが、霧降の滝、霧降高原、大笹牧場へ、フリーパスを利用して訪れると特典が受けられる事はあまり知られていません。店舗で提示するとコーヒーや牛乳、ケーキをいただけます。

紅葉シーズンは中禅寺湖や湯元温泉を目指される方が多いのですが、車窓からの風景としては、霧降の滝、霧降高原、大笹牧場周辺の紅葉もとても美しいので、そちらも見ていただきたいです。

**奥**日光に行きたいけれど、夏から秋は人が多くてちょっと…という方、千手の森へ行きましょう！戦場ヶ原や小田代原の知名度が高いせいか、こちらは人が少なくオススメです。

千手の森へは、赤沼から低公害バスに乗って、西ノ湖入り口バス停がスタート地点。外山沢川を渡れば、見事な白樺の林が出迎えてくれます。やがて林相は一変し、凜として伸びたカラマツ林の小径は、どこまでも続くかのよう…。鮮やかな緑の隙間から、ほどよく差し込む木漏れ日が心地良いです。



違う角度から見る  
男体山もカッコイイ！



**森**を抜けると、千手ヶ浜(せんじゅがはま)に到着です！中禅寺湖の波がザーンと、名前の通りビーチみたい！レジャーシートを敷いて、ご家族でピクニックをされている方をよく見かけます。ちょ



そして、柳沢の吊り橋から沢を見下ろすと、野鳥が水辺を歩いていたたり、動物の足跡が残っていることも。更に、森の奥を注意深くみているとシカが！野生動物に出会える確率が高いのも魅力です。

千手の森は修学旅行のコースにも滅多に選ばれないので、団体の方も格段に少なくほんとうに静か。道も平坦でアップダウンもなく、気持ちよく歩くことができます。ゆったりと自然の中を歩きたい方に超オススメです。

# 千手ヶ浜

っと水遊びもできて、お子さんも大はしゃぎ！ハイキングをしなくても、低公害バスの終点で降りればすぐ千手ヶ浜に到着するので、天気の良い日に思い立って、湖岸でただコーヒーを飲む、なんてのも良いと思います。吹き抜ける風の気持ちよさと開放感を味わいに、この夏は、さあ千手ヶ浜へ！

# 戦場ヶ原、小田代原 だけじゃない！千手の森へ行こう！

文・みやぎ

**見**どころポイントのひとつ、奥日光の秘境、西ノ湖(さいのこ)。下の 2 枚の写真はどちらも同じ場所から撮影した西ノ湖なのですが…加工してる？というくらい水位が違うのが伝わるのでしょうか？いつもここまで極端に異なるわけではありませんが、その年によって、また時季や天候によって、全く違った表情を見せてくれます。「今日はどのくらい水があるだろう？」と予想しながら行くのも楽しいですね！

グリーンシーズンの湯ノ湖や中禅寺湖は、釣りや観光のお客様が多く賑やかですが両者に比べあまり知られていない西ノ湖は、とにかく静か。鳥の声に耳をすませブルーに輝く湖面を眺める静かな時間…。はあ、なんて贅沢…。

時季や天候  
によって全然  
水位が違う！

# 西ノ湖



**千**手の花はクリンソウ(下の写真)だけじゃない！群生する植物は他にもあるぞ！というわけで、よくご質問を頂く 2 種をご紹介します。

右の黄色い花は『マルバダケブキ』です。千手ヶ浜を目指して進んでいくと、小さめのヒマワリのようなこの花が一面に広がっているのを見ることができます。花期は 8 月。フキのように丸くて大きな葉が特徴です。

マルバダケブキの下の写真は『フッキソウ』です。千手ヶ浜に着いて、湖岸沿いの橋を渡ると、足元に現れるツヤツヤした葉っぱの絨毯はこれです。甘い香りを放つ花期は 4 月～5 月ですが、常緑性なので、積雪期以外は、緑の絨毯を広げて迎えてくれます。

クリンソウも、もちろんオススメです。花を見に行くだけなら、午後の便の方が比較的すいていてオススメです！ただし、帰りの便の時刻を事前によく確かめておきましょう。



# 夏でも涼しい苔の回廊 御沢金剛峡

歴史あり、雰囲気あり、冒険感あり！大人も子供もドキドキ！

7月10日(土)  
10:00-15:00

対象：現地に集合できる小学5年生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：光徳無料駐車場



定員 10名 先着順(要予約)

絶対に個人では入れない、奥日光の秘境へ！企画するたび雨で中止なので、参加者の方はてるてる坊主を作って備えてください(笑)。沢の中をジャブジャブ歩くので、**沢靴かスポーツサンダル必須！**※特別許可を得て開催

【ルート】光徳無料駐車場→金剛峡→裏男体林道→光徳無料駐車場

参加費 4,000円

# 奥日光の『ヤバイ』を探す旅

どんなヤバイを見つけられるかは当日のお楽しみ！

7月24日(土)  
9:30-15:00

対象：現地に集合できる小学5年生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：日光湯元ビジターセンター



定員 10名 先着順(要予約)

冬虫夏草、キノコなど、とにかく「ヤバイ」物に注目して刈込湖まで歩きます。新しい山歩きの楽しみが見いだせるかも?! 昆虫大好きお兄さん(職員)も同行するので、お子さんにもオススメ!

【ルート】日光湯元ビジターセンター→泉源→刈込湖(往復)

参加費 4,000円

自然公園財団日光支部  
TEL: 0288-62-2461  
FAX: 0288-62-2378

## お申込み先

お申込みの際、令和元年・2年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。(日程や内容が変更になる場合があります。予めご了承ください)

# ～夜の昆虫探し～ライトトラップ

7月31日(土)  
19:30-20:30

対象：年齢制限なし。現地に集合できる方  
集合場所：日光湯元ビジターセンター

初の試み！暗くなった野外で一か所をライトで照らし虫を呼んで観察してみよう！どんな昆虫が集まるのかスタッフもワクワクです！

【開催場所】日光湯元ビジターセンター園地

参加費 500円  
(小学生未満は無料)

※イメージ



定員 10名 先着順(要予約)

# 世にも不思議な?! カクレ滝へいざ探検!

8月7日(土)  
9:30-15:30

対象：現地に集合できる小学5年生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：西ノ湖入り口バス停(低公害バスをご利用ください)

静かな森の中を歩いた後の、道なき道を進んだ先に現れる、ブルーに輝く水面に感動間違いなし! ただし**沢に入ります。スポーツサンダル等必須**です!

※特別許可を得て開催

【ルート】西ノ湖入り口バス停→西ノ湖→カクレ滝(往復)

参加費 4,000円



定員 10名 先着順(要予約)

# 奥日光の奥の奥!の星空ハイク

8月14日(土)  
19:30-20:30

対象：年齢制限なし。現地に集合できる方。  
(双眼鏡をご自身でお持ちの方はぜひご持参ください)  
集合場所：日光湯元ビジターセンター

この日は『ペルセウス座流星群』が見られる予定! 星に詳しいスタッフが同行するので解説付きで楽しめます! 天候により内容が変更になることがあります、ご了承ください。**※曇天・雨天でも開催**

【開催場所】湯元内

参加費 500円  
(小学生未満は無料)

定員 10名 先着順(要予約)

